

1 メフロキン塩酸塩

2 基原の項を次のように改める.

3 本品は定量するとき、換算した脱水物に対し、メフロキン
4 塩酸塩($C_{17}H_{16}F_6N_2O \cdot HCl$)99.0~101.0%を含む.

5 確認試験(3)の項を次のように改める.

6 確認試験

7 (3) 本品を105℃で2時間乾燥し、赤外吸収スペクトル測
8 定法 (2.25) の塩化カリウム錠剤法により試験を行い、本品
9 のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、両者
10 のスペクトルは同一波数のところに同様の強度の吸収を認め
11 る.

12 乾燥減量の項を削除する.

13 純度試験の項の次に次を加える.

14 水分 (2.48) 3.0%以下(1 g, 容量滴定法, 直接滴定).

15 定量法の項を次のように改める.

16 定量法 本品約0.5 gを精密に量り、無水酢酸/酢酸(100)混液
17 (7:3)100 mLに溶かし、0.1 mol/L過塩素酸で滴定 (2.50) す
18 る(電位差滴定法). 同様の方法で空試験を行い、補正する.

19 0.1 mol/L過塩素酸1 mL=41.48 mg $C_{17}H_{16}F_6N_2O \cdot HCl$